



RS(アールエス)ウイルス感染症 赤ちゃんは要注意

平成 30 年 9 月 5 日
 富山県感染症情報センター
 (0766-56-5431 直通)
 (0766-56-8142 細菌部)
 (0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(平成 30 年第 35 週分・8 月 27 日～9 月 2 日)

《 インフォメーション 》

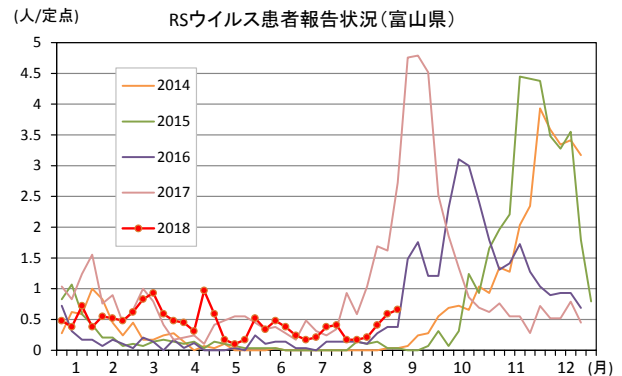
●RS ウイルス感染症

今週、RS ウイルス感染症の報告数が定点医療機関あたり 1.76 人となり、先週 (0.66) から増加しました。この疾患は秋～冬に流行する傾向がみられます (図参照)。

RS ウイルス感染症は、RS ウイルスを原因とする病気です。乳幼児の代表的な呼吸器感染症で、生後 1 歳までに半数以上が感染し、2 歳までにはほとんどの子どもが感染します。

主な感染経路は、患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによる飛沫感染と、ウイルスが付着した手やおもちゃなどを介した接触感染です。潜伏期間 (4～6 日) の後、鼻汁、咳、発熱などの上気道症状が現れます。患者の約 3 割で、炎症が下気道まで波及して気管支炎や肺炎を発症することがあります。特に、①生後 6 か月未満の赤ちゃん、②早く生まれた赤ちゃん、③心肺に基礎疾患をもつ子どもは、感染すると重症化しやすいので注意が必要です。

RS ウイルス感染症は保育所などの集団施設だけでなく、家庭内でも感染します。手をよく洗う、咳などの症状のある場合はマスクを着用するなどの感染予防に気を付けましょう。



《 全数報告の感染症 》

二類感染症 結核 6 件 (①20 歳代、女性 ②40 歳代、男性 ③④ともに 70 歳代、男性
 ⑤70 歳代、女性 ⑥80 歳代、男性)

四類感染症 E 型肝炎 1 件 (60 歳代、男性)
 デング熱 2 件 (①20 歳代、男性 ②20 歳代、女性)
 レジオネラ症 1 件 (第 34 週診断分：80 歳代、男性、肺炎型)

五類感染症 急性脳炎 1 件 (10 歳未満、女性)
 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2 件 (①第 33 週診断分：40 歳代、男性、A 群 ②70 歳代、男性、G 群)
 百日咳 4 件 (①②第 34 週診断分：ともに 10 歳未満、男性 ③④ともに 10 歳代、女性)
 風しん 1 件 (20 歳代、男性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患

順位	疾病名	定点あたりの数		
		今週	先週	増減
1 位	感染性胃腸炎	4.24	3.79	↑
2 位	ヘルパンギーナ	3.48	2.24	↑
3 位	RS ウイルス	1.76	0.66	↑
4 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.93	0.76	↑
5 位	咽頭結膜熱	0.48	0.28	↑
6 位	手足口病	0.34	0.45	↓

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
 アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成30年第35週 平成30年8月27日～平成30年9月2日）

分類	疾患	今週報告分（第35週）					累積報告数							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核			4		2	6	9	11	41	14	71	146	
三類感染症	細菌性赤痢									1		1		
	腸管出血性大腸菌感染症							3	3	3	3	11	23	
四類感染症	E型肝炎				1		1	1			1		2	
	A型肝炎											3	3	
	つつが虫病											1	1	
	デング熱				2		2				2		2	
	レジオネラ症							1	1	7	3	20	32	
五類感染症	アメーバ赤痢										1		1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									3		7	10	
	急性弛緩性麻痺										1		1	
	急性脳炎			1			1	2		1	1	1	5	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					1	1	4	1	5	2	5	17	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症							2		1		1	4	
	侵襲性肺炎球菌感染症							2	2	7	4	13	28	
	水痘（入院例）							1		1		2	4	
	梅毒									1		7	8	
	播種性クリプトコックス症											3	3	
	百日咳				2		2				3	7	10	
	風しん					1	1				1	2	3	
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ							2,232	1,824	3,485	2,442	5,346	15,329
		RSウイルス感染症		1	12		38	51	38	21	85	24	321	489
咽頭結膜熱			5	3	1		5	14	196	69	244	26	279	814
			1.25	1.00	0.13		0.50	0.48						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			3	6	8		10	27	145	101	489	210	660	1,605
			0.75	2.00	1.00		1.00	0.93						
感染性胃腸炎			33	15	33	5	37	123	960	673	1,080	208	2,410	5,331
			8.25	5.00	4.13	1.25	3.70	4.24						
水痘					1	1	1	3	18	6	89	52	95	260
					0.13	0.25	0.10	0.10						
手足口病				1	7		2	10	4	12	46	19	116	197
				0.33	0.88		0.20	0.34						
伝染性紅斑			1					1	4	1	84	44	34	167
			0.25					0.03						
突発性発しん					4		5	9	49	36	160	41	125	411
					0.50		0.50	0.31						
ヘルパンギーナ			5	5	39	5	47	101	28	42	124	34	124	352
			1.25	1.67	4.88	1.25	4.70	3.48						
流行性耳下腺炎							1	1	3	7	16	3	33	62
							0.10	0.03						
急性出血性結膜炎											14		14	
流行性角結膜炎				1				1	2	16	9	4	5	36
				1.00				0.14						
細菌性髄膜炎											5	5		
無菌性髄膜炎											2	2		
マイコプラズマ肺炎								3	3	6	5	7	24	
クラミジア肺炎											1	3	4	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）								3		4	2	7	16	
インフルエンザによる入院患者（*）								51	55	39	150	96	391	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成29年第36週(9月4日)～の集計です。